

令和元年度

事業報告書

決算報告書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

目 次

第1表 事業報告書

1	設立目的及び概況	1
2	役員等の状況	1
3	理事会及び評議員会の開催	7
4	職員の状況	8
5	事業の実施状況	9

第2表 決算報告書

1	貸借対照表	3 6
2	貸借対照表内訳表	3 7
3	正味財産増減計算書	3 8
4	正味財産増減計算書内訳表	4 0
5	財務諸表に対する注記	4 2
6	附属明細書	4 3
7	財産目録	4 4
8	収支計算書	4 5
9	収支計算書内訳表	4 7
10	収支計算書に対する注記	5 0

第1表 事業報告書

令和元年度公益財団法人広島観光コンベンションビューロー事業報告書 (平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

国内外からのコンベンション（各種会議・大会、展示会・見本市等をいう。）の誘致及び開催支援、観光客の誘致並びに観光資源の整備・開発等を行うことにより、広島県におけるコンベンション並びに広島市及びその周辺地域における観光の振興を図り、もって地域経済の活性化並びに国際相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

平成7年12月1日

(平成23年9月1日 公益財団法人へ移行)

イ 基本財産

9億7,780万円

ウ 実施事業

- (ア) コンベンションの誘致、開催及びそのための支援
- (イ) コンベンションシティ広島、県内コンベンション施設等の広報及び宣伝
- (ウ) コンベンション・観光の企画、調査及び開発
- (エ) コンベンション・観光関連情報の収集及び提供
- (オ) 観光資源の整備・開発及び観光関係行事の実施
- (カ) 観光客の受入態勢の整備
- (キ) 観光宣伝・誘致活動の推進
- (ク) 広島市観光施設等の受託運営及び附帯事業の運営
- (ケ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数（令和2年3月31日現在）

理事長	1人
副理事長	3人
専務理事	1人
常務理事	2人
理事	30人
監事	2人
評議員	29人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
平成31年 4月 1日	理 事	山 本 直 樹	就 任
平成31年 4月 1日	理 事	伊 木 剛 二	就 任
平成31年 4月 1日	理 事	兼 重 慎一郎	就 任
平成31年 4月 1日	理 事	菊 池 三 春	就 任
平成31年 4月 1日	理 事	大 木 淳 雄	就 任
令和 元年 6月 12日	理 事 長	深 山 英 樹	重 任
令和 元年 6月 12日	副理事長	棕 田 昌 夫	重 任
令和 元年 6月 12日	副理事長	仁 田 一 郎	重 任
令和 元年 6月 12日	副理事長	下 村 純 一	重 任
令和 元年 6月 12日	専務理事	北 吉 孝 行	重 任
令和 元年 6月 12日	常務理事	倉 石 雅 基	重 任
令和 元年 6月 12日	常務理事	黒 木 正 之	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	來 山 哲	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	山 本 直 樹	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	伊 木 剛 二	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	大 谷 修	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	草 場 孝 義	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	武 井 秀 樹	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	今 井 誠 則	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	原 田 秀 二	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	中 山 太 郎	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	金 井 正 樹	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	野 住 伸 貴	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	香 川 基 吉	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	沖 田 和 也	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	前 泰 弘	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	荒 本 徹 哉	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	兼 重 慎一郎	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	大 木 淳 雄	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	土 橋 卓 也	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	面 出 成 志	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	木 下 飛 星	重 任
令和 元年 6月 12日	理 事	水 内 美 輝	重 任

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和 元年 6月12日	理 事	井 上 一 男	重 任
令和 元年 6月12日	理 事	倉 田 和 典	重 任
令和 元年 6月12日	理 事	古 田 裕 三	重 任
令和 元年 6月12日	理 事	菊 池 三 春	重 任
令和 元年 6月12日	理 事	池 田 繁 実	重 任
令和 元年 6月12日	理 事	小 谷 泰 造	重 任
令和 元年 6月12日	理 事	尾 崎 康 隆	重 任
令和 元年 6月12日	理 事	中 島 和 雄	重 任
令和 元年 6月12日	理 事	朴 曜 子	重 任
令和 元年 6月12日	監 事	曾 川 祐 治	重 任
令和 元年 6月12日	監 事	隈 元 泰 治	重 任
令和 元年 6月20日	理 事	池 田 繁 美	辞 任
令和 元年 7月29日	理 事	関 康 彦	就 任
令和 元年11月 1日	理 事	池 田 晃 治	就 任
令和 元年11月 8日	理 事 長	深 山 英 樹	辞 任
令和 元年11月 9日	理 事 長	池 田 晃 治	就 任
令和 元年11月10日	理 事	深 山 英 樹	辞 任
令和 元年12月31日	理 事	大 谷 修	辞 任
令和 元年12月31日	理 事	草 場 孝 義	辞 任
令和 2年 1月15日	理 事	平 野 喜 隆	就 任
令和 2年 3月 6日	理 事	植 田 伸 幸	就 任
令和 2年 3月31日	理 事	北 吉 孝 行	辞 任
令和 2年 3月31日	理 事	山 本 直 樹	辞 任
令和 2年 3月31日	理 事	中 山 太 郎	辞 任
令和 2年 3月31日	理 事	荒 本 徹 哉	辞 任

イ 令和2年3月31日現在の理事・監事は次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
理 事 長	池 田 晃 治	令和 元年11月 9日
副 理 事 長	棕 田 昌 夫	平成25年 4月 1日
副 理 事 長	仁 田 一 郎	平成23年 9月 1日
副 理 事 長	下 村 純 一	平成24年 7月31日
専 務 理 事	北 吉 孝 行	平成29年 4月 1日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
常 務 理 事	倉 石 雅 基	平成 2 9 年 4 月 1 日
常 務 理 事	黒 木 正 之	平成 3 0 年 4 月 1 日
理 事	來 山 哲	平成 3 0 年 1 2 月 1 4 日
理 事	山 本 直 樹	平成 3 1 年 4 月 1 日
理 事	伊 木 剛 二	平成 3 1 年 4 月 1 日
理 事	平 野 喜 隆	令和 2 年 1 月 1 5 日
理 事	植 田 伸 幸	令和 2 年 3 月 6 日
理 事	武 井 秀 樹	平成 2 3 年 9 月 1 日
理 事	今 井 誠 則	平成 2 3 年 9 月 1 日
理 事	原 田 秀 二	平成 2 3 年 9 月 1 日
理 事	中 山 太 郎	平成 3 0 年 5 月 1 8 日
理 事	金 井 正 樹	平成 2 8 年 1 0 月 4 日
理 事	野 住 伸 貴	平成 2 3 年 9 月 1 日
理 事	香 川 基 吉	平成 2 3 年 9 月 1 日
理 事	沖 田 和 也	平成 2 7 年 1 0 月 2 3 日
理 事	前 泰 弘	平成 2 3 年 9 月 1 日
理 事	荒 本 徹 哉	平成 2 7 年 1 0 月 2 3 日
理 事	兼 重 慎 一 郎	平成 3 1 年 4 月 1 日
理 事	大 木 淳 雄	平成 3 1 年 4 月 1 日
理 事	土 橋 卓 也	平成 2 7 年 6 月 1 1 日
理 事	面 出 成 志	平成 2 6 年 3 月 1 8 日
理 事	木 下 飛 星	平成 2 7 年 1 0 月 2 2 日
理 事	水 内 美 輝	平成 2 9 年 1 1 月 2 8 日
理 事	井 上 一 男	平成 2 8 年 1 0 月 4 日
理 事	倉 田 和 典	平成 2 3 年 9 月 1 日
理 事	古 田 裕 三	平成 2 3 年 9 月 1 日
理 事	菊 池 三 春	平成 3 1 年 4 月 1 日
理 事	関 康 彦	令和 元 年 7 月 2 9 日
理 事	小 谷 泰 造	平成 2 3 年 9 月 1 日
理 事	尾 崎 康 隆	平成 3 0 年 5 月 1 8 日
理 事	中 島 和 雄	平成 2 3 年 9 月 1 日
理 事	朴 曜 子	平成 3 1 年 2 月 8 日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
監 事	曾 川 祐 治	平成26年 9月 3日
監 事	隈 元 泰 治	平成29年11月28日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
平成31年 4月 1日	評 議 員	若 林 真 一	就 任
平成31年 4月 1日	評 議 員	上 原 田 誠	就 任
平成31年 4月 1日	評 議 員	宮 田 俊 範	就 任
平成31年 4月 1日	評 議 員	船 木 孝 哲	就 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	若 林 真 一	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	越 智 光 夫	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	佐 伯 安 史	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	日 高 洋	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	谷 村 武 士	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	石 井 正 朗	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	梅 木 敏 明	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	伊 藤 伸一郎	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	藤 岡 成 輝	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	村 山 邦 孝	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	森 田 茂	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	五 弓 博 文	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	平 瀬 春 男	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	小 杉 真 澄	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	上 原 田 誠	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	千 玉 敏 之	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	石 田 文 典	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	西 川 雅 己	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	北 野 眞	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	辻 文 治	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	姫 野 浩	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	宮 田 俊 範	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	尾 木 朗	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	松 村 秀 雄	重 任

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和 元年 6月12日	評 議 員	藤 家 豊	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	佐 藤 公 俊	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	船 木 孝 哲	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	安 東 則 好	重 任
令和 元年 6月12日	評 議 員	大 谷 博 国	重 任
令和 元年 6月19日	評 議 員	西 川 雅 己	辞 任
令和 元年 6月26日	評 議 員	松 村 秀 雄	辞 任
令和 元年 7月29日	評 議 員	赤 木 康 秀	就 任
令和 元年 7月29日	評 議 員	重 藤 隆 文	就 任
令和 元年 7月31日	評 議 員	小 杉 真 澄	辞 任
令和 元年11月 1日	評 議 員	原 めぐみ	就 任
令和 元年11月11日	評 議 員	谷 村 武 士	辞 任
令和 元年12月31日	評 議 員	伊 藤 伸一郎	辞 任
令和 2年 1月15日	評 議 員	植 野 実智成	就 任
令和 2年 1月15日	評 議 員	上 野 慎一郎	就 任
令和 2年 1月31日	評 議 員	宮 田 俊 範	辞 任
令和 2年 3月 6日	評 議 員	橘 高 知 樹	就 任
令和 2年 3月31日	評 議 員	村 山 邦 孝	辞 任

イ 令和2年3月31日現在の評議員は次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評議員(評議員会会長)	若 林 真 一	平成31年 4月 1日
評 議 員	越 智 光 夫	平成27年 6月 1日
評 議 員	佐 伯 安 史	平成29年 4月 1日
評 議 員	日 高 洋	平成30年 4月 1日
評 議 員	植 野 実智成	令和 2年 1月15日
評 議 員	石 井 正 朗	平成27年 6月11日
評 議 員	梅 木 敏 明	平成27年 6月11日
評 議 員	上 野 慎 一 郎	令和 2年 1月15日
評 議 員	藤 岡 成 輝	平成29年 3月17日
評 議 員	村 山 邦 孝	平成31年 2月 8日
評 議 員	森 田 茂	平成30年12月14日
評 議 員	五 弓 博 文	平成29年 4月 1日
評 議 員	平 瀬 春 男	平成30年 5月18日
評 議 員	原 めぐみ	令和 元年11月 1日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評 議 員	上 原 田 誠	平成 3 1 年 4 月 1 日
評 議 員	千 玉 敏 之	平成 2 9 年 1 1 月 1 4 日
評 議 員	石 田 文 典	平成 2 8 年 1 0 月 4 日
評 議 員	赤 木 康 秀	平成 3 1 年 4 月 1 日
評 議 員	北 野 眞	平成 3 0 年 1 2 月 1 4 日
評 議 員	辻 文 治	平成 3 0 年 5 月 1 8 日
評 議 員	姫 野 浩	平成 2 9 年 5 月 2 4 日
評 議 員	橘 高 知 樹	令和 2 年 3 月 6 日
評 議 員	尾 木 朗	平成 3 0 年 1 2 月 1 4 日
評 議 員	重 藤 隆 文	令和 元 年 7 月 2 9 日
評 議 員	藤 家 豊	平成 3 0 年 5 月 1 8 日
評 議 員	佐 藤 公 俊	平成 3 0 年 1 2 月 1 4 日
評 議 員	船 木 孝 哲	平成 3 1 年 4 月 1 日
評 議 員	安 東 則 好	平成 3 0 年 1 2 月 1 4 日
評 議 員	大 谷 博 国	平成 2 4 年 3 月 2 2 日

3 理事会及び評議員会の開催

(1) 理事会

開 催 日 等	議 決 事 項
平成 3 1 年 4 月 1 日 (決議の省略の方法)	1 常勤役員の報酬月額の設定
令和 元 年 5 月 2 8 日 (第 1 回理事会)	1 平成 3 0 年度事業報告 2 平成 3 0 年度決算 3 評議員会の招集
令和 元 年 6 月 1 2 日 (決議の省略の方法)	1 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選定 2 会長及び顧問の委嘱の同意 3 常勤役員の報酬月額の設定
令和 元 年 1 1 月 1 日 (決議の省略の方法)	1 理事長の選定 2 顧問の委嘱の同意
令和 2 年 1 月 1 5 日 (決議の省略の方法)	1 評議員会の招集
令和 2 年 3 月 1 7 日 (決議の省略の方法)	1 評議員会の招集の取消し 2 令和 2 年度事業計画 3 令和 2 年度収支予算

(2) 評議員会

開 催 日 等	議 決 事 項
平成31年 4月 1日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任 3 評議員会会長の選任
令和 元年 6月12日 (第1回評議員会)	1 平成30年度事業報告 2 平成30年度決算 3 理事の選任 4 監事の選任 5 評議員の選任 6 評議員会会長の選任
令和 元年 7月29日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
令和 元年11月 1日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
令和 2年 1月15日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
令和 2年 3月 6日 (決議の省略の方法)	1 理事の選任 2 評議員の選任
令和 2年 3月18日 (決議の省略の方法)	1 令和2年度事業計画 2 令和2年度収支予算

4 職員の状況

令和2年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区 分	部 長	課 主 長 幹	主 主 任 査	主 事	嘱 再 託 雇 用	合 計
企 画 総 務 部	(1)※	3	2	0	1	6
M I C E 推 進 部	4	1	1	4	1	11
魅 力 創 造 部	4	5	4	5	1	19
合 計	8	9	7	9	3	36

※ 企画総務部長は常務理事の事務取扱

5 事業の実施状況

【公益目的事業】

I MICE振興事業

1 情報収集事業

(1) MICE関連機関からの情報収集

一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー（以下「JCCB」という。）のコンベンション開催意向調査結果、5,477件のデータを活用し、効率的に誘致活動を行った。

また、国際会議やイベントを主催する約100か国1,100の団体が加盟する国際会議協会（ICCA）、JCCB、独立行政法人国際観光振興機構（以下「JNTO」という。）及び一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構（以下「JSTA」という。）の会員となり、国際会議を主としたMICE誘致のために有益な情報収集を行った。

(2) 顧客管理システムの運用

コンベンション調査やMICE関連機関等から収集した情報を蓄積する顧客管理システムを更新するとともに、これまで蓄積してきた学会等のデータを分析するなどして、効率的に誘致・支援活動を行った。

2 MICEの誘致・支援事業

MICE主催者に対して広島のPRや各種の誘致・支援事業を展開し、広島でのMICE開催の促進を図った。

○令和元年度MICE開催状況

区 分	国 際 会 議	国 内 会 議	そ の 他	合 計
MICE件数	83 件 (目標 110 件)	548 件	53 件	684 件 (目標 550 件)
参加者延べ人数	152,244 人	164,642 人	229,899 人	546,785 人 (目標 550,000 人)

【評 価】 情報収集と個別誘致活動を積極的に行った結果、国際会議の件数は目標に届かなかったが、合計の件数は目標を大きく上回ることができた。また、参加者延べ人数についても、概ね目標を達成した。

(1) 誘致活動の実施

ア グローバルMICE強化事業

グローバルMICE都市として、MICE主催者に対する支援を行うとともに、MICE開催地としての広島の魅力を広く訴求し、MICEブランドの浸透を図り、MICEの誘致を推進した。

(ア) ロビー活動支援事業【新規】

アジア交通学会の開催地を決定する理事会に職員を派遣し、会議主催者とともにロビー活動を実施することとしていたが、派遣を予定していた理事会開催地(コロンボ)の政情不安により、実施に至らなかった。

(イ) テクニカルビジットのモデル事業の実施

広島で開催されるMICEの参加者を対象に、地元企業などの産業技術や研究の実地視察及び受入企業との交流を行うテクニカルビジットのモデル事業を実施した。

【第1回】

- ・開催期間 令和元年9月11日(水)～13日(金)
- ・実施場所 三光電業㈱「ロボットパーク」、㈱熊平製作所「ショールーム」、
㈱オタフクソース「OKOSTA」、マツダ㈱「マツダミュージアム」
- ・参加者 国際会議「SICE Annual Conference 2019(計測自動制御学会年次大会)」
の参加者及びMICE事業関係者
- ・参加者数 延べ103人

【第2回】

- ・開催日 令和元年11月27日(水)
- ・実施場所 ㈱晃祐堂(化粧筆)
- ・参加者 日東工器㈱が主催するインセンティブ
旅行の参加者
- ・参加者数 46人



(ウ) 福岡市のMICE推進機関との誘致戦略調整会議の開催及び共同事業の実施

a 誘致戦略調整会議

(公財)福岡観光コンベンションビューローと国際会議等の共同誘致に向けて情報交換を行った。

- ・開催日 令和元年12月20日(金)
- ・場所 (公財)福岡観光コンベンションビューロー

b 共同事業：「AIME2020」への共同出展

オーストラリアで開催されるMICE専門見本市に共同出展し、国際会議主催者等に宣伝・誘致活動を行った。

- ・開催期間 令和2年2月17日(月)～19日(水)
- ・開催場所 オーストラリア・メルボルン
- ・参加者数 3,863人
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー 316人
出展者 336団体

【目標】 商談件数 20件

【実績】 商談件数 27件

【評価】 目標を上回る27件の商談を行い、
国際会議5件、インセンティブ旅行22件の情報を得た。



※ ホステッド・バイヤー：トレードショーに招待された優良なMICE主催者

(エ) シャトルバス等の運行助成

国際会議等の開催時に会場間又は会場と交通拠点間のシャトルバス等の運行助成を行うことにより、会議運営の効率性を確保した。

・助成件数 9件

(オ) 誘致ツールの作成

会議開催の誘致・支援活動を充実させるため、MICE施設の詳しい情報やユニークベニュー等を紹介したMICEプランナーズガイドの改訂版を作成した。

・作成部数 300部



(カ) グローバルMICE都市・都市力強化対策本部への参加

グローバルMICE都市(12都市)及びMICE推進機関等で構成する「グローバルMICE都市・都市力強化対策本部」に参加し、情報交換を行った。

イ 個別誘致活動の実施

国内のMICE主催団体等に対し、誘致活動を行った。

(ア) 首都圏等での活動

主として、首都圏に本部を置く団体、学術会議本部、企業等に誘致活動を展開した。

・訪問件数 251件

(イ) 広島県内での活動

県内の大学及び各教育機関、各種企業・団体等に対し、誘致活動を展開した。

・訪問件数 886件

ウ 海外MICE専門見本市における誘致活動

海外で開催される主要なMICE専門見本市に出展し、MICE主催者等に宣伝・誘致活動を行った。

(ア) 「IMEX 2019」への出展

- ・開催期間 令和元年5月21日(火)～23日(木)
- ・開催場所 ドイツ・フランクフルト
- ・参加者等 14,031人
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー 3,817人
出展者 3,439団体

【目 標】 商談件数 25件

【実 績】 商談件数 41件

【評 価】 目標を上回る41件の商談を行い、国際会議6件、企業ミーティング5件、インセンティブ旅行30件の情報を得た。



(イ) 「IMEX America 2019」への出展

- ・開催時期 令和元年9月10日(火)～12日(木)
- ・開催場所 アメリカ・ラスベガス
- ・参加者数 13,500人
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー 3,426人
出展者 3,500団体



- 【目 標】 商談件数 30件
- 【実 績】 商談件数 33件
- 【評 価】 目標を上回る33件の商談を行い、国際会議9件、企業ミーティング8件、インセンティブ旅行11件、イベント・展示会5件の情報を得た。

(ウ) 「AIME2020」への共同出展【再掲】

- ・開催期間 令和2年2月17日(月)～19日(水)
- ・開催場所 オーストラリア・メルボルン
- ・参加者数 3,863人
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー 316人
出展者 336団体

- 【目 標】 商談件数 20件
- 【実 績】 商談件数 27件
- 【評 価】 目標を上回る27件の商談を行い、国際会議5件、インセンティブ旅行22件の情報を得た。

エ 国際MICEエキスポ（IME2020）への出展

国内唯一のMICE総合見本市・トレードショーである国際MICEエキスポに出展し、MICE開催の決定権を有するキーパーソンなどに対して、広島での開催を働きかけた。

- ・開催日 令和2年2月26日(水)
- ・会 場 東京国際フォーラム
- ・来場者数 694人
- ・関係者数 ホステッド・バイヤー 12人
出展者 101団体

- ・主 催 JNTO、JCCB

- 【目 標】 商談件数 20件

- 【実 績】 商談件数 13件

- 【評 価】 新型コロナウイルス感染症の影響により、アポイントメントのキャンセルが相次いだことから、商談件数は目標に達しなかったが、国際会議4件、国内会議7件、インセンティブツアー2件の情報を得た。



オ キーパーソンの視察受入

MICE開催の意向を有するキーパーソン等の視察受入を行い、MICE施設、観光資源、受入態勢等、広島の魅力を紹介・案内することにより、広島での開催を働きかけた。

- (ア) OptoElectronics and Communications Conference 2022 (2022 光通信技術及び光デバイス技術に関する国際シンポジウム) 実行委員長など主催者3人

- ・実施期間 令和元年5月7日(火)～8日(水)

- (イ) 2022 The Joint Annual Meeting of The Bioelectromagnetics Society and the European BioElectromagnetics Associatio (2022 年国際生体電磁気学会及び欧州生体電磁気学会合同年次大会) 実行委員長など主催者3人

- ・実施日 令和元年8月9日(金)

- (ウ) 貿易関連会社のバコ・アンビアンダCEO
(カメルーン) など海外からのキーパーソン5人
(国際会議海外キーパーソン招請事業(MeetJapan)
の参加者)

・実施期間 令和元年12月9日(月)
～10日(火)



- (エ) General Assembly of the Asia Pacific

Metrology Programme 2022(2022年アジア太平洋計量計画総会)の実行委員など関係者4人

・実施期間 令和2年3月16日(月)～18日(水)

カ 広島産学公連携MICE推進協議会の運営

「広島産学公連携MICE推進協議会」及び当該協議会内に設置する「インセンティブ部会」を運営し、広島におけるMICE誘致を推進した。

- ・広島産学公連携MICE推進協議会 開催回数 2回
※うち1回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、資料送付によるものとした。
- ・同協議会 インセンティブ部会 開催回数 3回

キ 中国・四国地区コンベンション推進協議会の運営

中国・四国地区のコンベンション推進機関等、14団体で構成する中国・四国地区コンベンション推進協議会において、コンベンション等に関する情報の収集・交換及びコンベンション等の推進に関する調整や研究を行った。また、中国・四国地区のコンベンション誘致懇談会を行った。

(ア) 総会及び視察

- ・開催期間 令和元年7月11日(木)～12日(金)
- ・会場 広島国際会議場(広島市)
- ・視察先 平和記念資料館、おりづるタワー、広島コンベンションホール
- ・参加者数 12団体26人

(イ) コンベンション誘致懇談会

- ・開催日 令和元年12月5日(木)
- ・会場 品川プリンスホテル(東京都)
- ・出展者数 13団体
- ・招待者数 136人(団体数:87団体)



(ウ) JCCBへの委員派遣

- ・理事:1人、1回、東京都内

(2) 支援活動の実施

ア コンベンション誘致助成事業

コンベンション主催者に対し、開催経費の一部を助成することにより、広島での開催を促進した。

(ア) 第8回レーザ先端材料加工国際会議

- ・開催期間 令和元年5月21日(火)～16日(金)
- ・参加者数 361人(うち外国人175人、参加国数24か国)
- ・助成金額 300万円

(イ) 第19回固体線量計測国際会議

- ・開催期間 令和元年9月11日(水)～20日(金)
- ・参加者数 333人(うち外国人238人、参加国数45か国)
- ・助成金額 300万円

(ウ) 第32回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議

- ・開催期間 令和元年10月28日(月)～10月31日(木)
- ・参加者数 435人(うち外国人97人、参加国数17か国)
- ・助成金額 280万円

(エ) 第58回OSEALフォーラム

- ・開催期間 令和元年11月7日(木)～10日(日)
- ・参加者数 12,005人(うち外国人3,243人、参加国数23か国)
- ・助成金額 300万円

(オ) 第25回小型エンジン技術国際会議

- ・開催期間 令和元年11月19日(水)～21日(金)
- ・参加者数 370人(うち外国人100人、参加国数18か国)
- ・助成金額 274万5千円

(カ) 第12回半導体飛跡測定器の開発と応用に係る国際「広島」シンポジウム

- ・開催期間 令和元年12月14日(土)～18日(水)
- ・参加者数 163人(うち外国人120人、参加国数18か国)
- ・助成金額 30万円

イ コンベンション開催準備資金貸付事業

コンベンション主催者に対し、開催に必要な準備資金の貸付を行うことにより、広島での開催を促進した。

(ア) 研究支援担当専門職能団体の国際ネットワーク 2020 年世界大会

- ・開催期間 令和2年5月25日（月）～28日（木）
- ・参加者数 450人
- ・貸付金額 300万円

(イ) 第11回分子インプリンティングに関する国際会議

- ・開催期間 令和2年6月21日（日）～26日（金）
- ・参加者数 300人
- ・貸付金額 100万円

ウ 大規模会議等への支援

大規模会議等に対して、広島観光親善大使や外国語ボランティアガイドの派遣、伝統芸能等の提供、歓迎用看板等の掲出及び記念品等の提供を行い、参加者に対し歓迎の意を表した。



(伝統芸能等の提供)

- (ア) 広島観光親善大使の派遣 4件
- (イ) 外国語ボランティアガイドの派遣 6件
- (ウ) レセプション等における伝統芸能等の提供 11件
- (エ) 歓迎用看板の掲出（JR広島駅） 11件
- (オ) シャトルバス等の提供【再掲】 9件
- (カ) 記念品等の提供
 - バッグ作成枚数（ビニール製） 20,000枚
 - グルメ&ナイトガイド 55,000部
- (キ) 広島市長メッセージの提供 16件
- (ク) 広島市平和記念資料館観覧料免除 27件



(記念品等の提供)

3 広報・宣伝事業

(1) 機関紙「ひろしま観光コンベンション」の発行

コンベンションの開催やポストコンベンション情報、観光情報、ビューローの活動状況等を掲載した機関紙「ひろしま観光コンベンション」を発行し、コンベンション主催者等への情報提供を行った。

号 数	発 行 月	発 行 部 数
第115号	令和元年 7月	7,200部
第116号	令和元年10月	7,200部
第117号	令和2年 1月	7,200部
第118号	令和2年 4月	7,200部

(2) ホームページの運用

ア MICE施設の情報やMICEの開催情報等を主催者等へ提供した。

- ・アドレス <https://www.hiroshimacvb.jp/>
- ・ページビュー数 144,870ページビュー

イ コンベンションカレンダーの更新

広島で開催予定の会議等をまとめたカレンダーを3か月ごとに更新し、ホームページ上で公開した。

4 調査・企画事業

(1) 経済波及効果調査の実施

コンベンション主催者及び参加者に対し支出に関するアンケート調査を行い、コンベンション開催に伴う経済波及効果を算出した。

(令和元年度経済波及効果額)

総支出額	経済波及効果額	経済波及倍率
125億8,659万円	195億636万円	1.55倍

算定は、参加者1人当たりの支出額（主催者の支出額を含む。過去5か年平均）3万9,831円及び広島市産業連関表により算定したその経済波及効果額6万1,729円のそれぞれの額に、令和元年度コンベンション延べ参加者数31万6千人(国際会議及び国内会議参加者に限る。)を乗じた額としている。

(2) 観光・コンベンションセミナーの開催

観光及びコンベンションに関する知識・ノウハウの習得、接遇能力の向上を図るため、広島商工会議所との共催により、コンベンション・観光関連団体、企業を対象としたセミナーを開催した。

- ・開催日 令和2年2月12日(水)
- ・会場 ANAクラウンプラザホテル広島
- ・主催 (公財)広島観光コンベンションビューロー、広島商工会議所
- ・内容 テーマ 「あなたの企業を成長させる「おもてなし経営」～『創客』の本質と実践～」

講師 西川 丈次(株式会社観光ビジネスコンサルタント代表取締役)

【実績】 参加者数 139人

【評価】 『創客』につながるおもてなしについて、西川講師自身が宿泊施設や観光地で受けて心に響いたおもてなしを、具体的に分かりやすく説明され、創客の本質や今後の取組みの方向性について習得することができた。



Ⅱ 観光振興事業

1 観光客の受入態勢整備事業

(1) 外国人観光客受入支援の実施

ア インバウンド受入ビジネスフェアの開催

外国人観光客受入に取り組みたい企業・店舗とインバウンド向け事業を行っている企業等をつなぐ「インバウンド受入ビジネスフェア」を開催し、インバウンド受入態勢を強化した。

・開催日 令和元年7月4日（木）～5日（金）

・会場 広島国際会議場

【目標】 出展小間数 34小間

来場者数 1,500人

出展者へのアンケートで「成果があった」とする商談件数
250件

【実績】 出展小間数 44小間

来場者数 1,778人

出展者へのアンケートで「成果があった」とする商談件数
134件

【評価】 出展小間数、来場者数は目標を達成した。出展者アンケートでは
91%の出展者が「来年度もぜひ出展したい」「出展を前向きに検討したい」と回答するなど好評であった。



講演会（パネルディスカッション）



展示商談会

イ 観光客受入向上セミナーの開催

・テーマ 「現状にON（オン）！ひと工夫でチャンスになるインバウンド」

・開催日 令和2年3月2日（月）

・会場 広島商工会議所ビル会議室

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止）

ウ 外国人観光客の受入可能な飲食店等の増強【新規】

外国人観光客の受入対応が可能な飲食店の増加を図るため、外国人対応やムスリム・ベジタリアン等の食の多様性への取組状況や意向について調査した。

(7) 「食の受入環境の状況の調査」の実施

- ・調査期間 令和元年9月～11月
- ・調査対象 中国運輸局の既存調査事業の調査対象及びビューロー賛助会員の飲食店（ホテルを含む）
- ・調査件数 237件
- ・調査内容 外国人観光客向け、ベジタリアン向け、ムスリム向けの現在の取組状況及び今後の取組意向
- ・その他 中国運輸局、広島県、広島市に対し調査結果の報告を行い、情報共有を図った。

(イ) 食の多様化対応実践セミナーの開催

- ・開催日 令和2年3月23日（月）
- ・会場 TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前、広島風お好み焼き「かさねがさね」
（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止）

(ウ) 対応可能飲食店の紹介・PR

「食の受入環境の状況の調査」に基づき、対応可能な飲食店の一覧をGoogleMap上で提供できるように整備し、観光案内所や広島広域観光情報サイト「ひろたび」及び「Explorer Hiroshima」、SNS上などで共有できるよう、準備作業を進めた。

- ・掲載店舗数 ベジタリアン対応 37店
ムスリム対応 13店

エ 広島広域都市圏内の観光案内所等との連携強化【新規】

広島市、呉市など7市町の観光案内所等との連携を図り、コミュニケーションツールである「Slack」を活用し、タイムリーな観光情報を共有するなどにより、外国人観光客の利便性の向上を図り、満足と安心を与える環境を整備した。

(2) 観光客向け「あいさつ運動」の推進【新規】

広島県と広島県観光連盟が統合した新体制において事業内容を検討することとなったため、中止となった。

2 観光資源整備・開発事業

(1) 広島市観光振興ネットワーク会議の運営

観光情報の共有や情報交換を行い、観光関係者の連携を図った。

- ・開催回数 1回（平成31年4月23日（火））

(2) 広島湾ナイトクルージングの実施

船舶事業者等で構成する実行委員会の事務局として、広島湾一帯を新たな観光ゾーンとして定着させるため、「広島湾ナイトクルージング」を実施した。

- ・期 間 令和元年7月13日(土)～10月31日(木)
- ・航 路 数 6 航路
- ・乗船者数 11, 136人



記念乗船会 (小学生と保護者)



PR 用顔出しパネル

(3) 観光プロダクトの開発【新規】

広島を訪れる観光客の満足度を上げ周遊促進や滞在時間の延長を図るため、観光プロダクト開発に取り組む事業者や起業家に対し、観光プロダクト開発の計画作成や試行・マーケティング調査、広報等の支援を行った。

ア 事業計画作成への支援

観光プロダクトの事業化の進捗状況に応じて、職員による相談、助言を行うとともに、関係機関や関連事業者の紹介を行った。

また、インバウンド事業の促進のため、外部機関が実施したセミナーへの講師派遣やモニター参加などを行った。

【相談・助言の実績】

事業者数 247事業者

主な内容

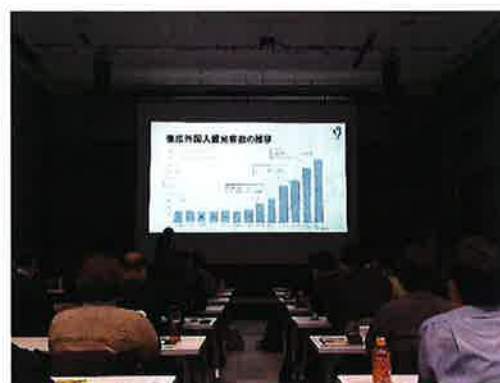
- ・観光プロダクトの構想段階にある事業者向け
事業者へのヒアリングを行い、広島の市場特性の説明を行うとともに、先行事例となる事業者や県市の観光関連部署・観光関連団体を紹介した。
- ・観光プロダクトの試行段階にある事業者向け
関連事業者を紹介して相互の連携を促進するとともに、インバウンド受入ビジネスフェアや体験型イベントなどビューロー事業の活用を働きかけた。
- ・観光プロダクトの常時提供が可能な事業者向け
事業者が提供する観光プロダクトをビューローが運営する広島広域観光情報サイト「ひろたび」や「Explorer Hiroshima」に掲載するとともに、観光案内所などで紹介するほか、国内外旅行会社への販路拡大を促進するなど広島での認知度の向上を支援した。

【講師派遣などの実績】

実施日	案件名	支援内容
令和元年 9月18日(水)	日本コンシェルジュ協会情報 交換会	講師派遣 ・ 広島県の観光情報の提供
令和元年 10月22日(火)	北広島町大朝インバウンドモ ニターツアー	モニター参加 ・ ツアー内容への提言
令和元年11月～ 令和2年2月	大久野島未来づくりワークシ ョップ・シンポジウム	アドバイザー派遣 ・ 広島県の観光概況の説明、 観光振興面からの提言
令和元年 11月13日(水)	第14回広島県信用金庫合同 ビジネスフェア2019	出展社募集の協力
令和元年 12月25日(水)	比治山大学短期大学部 学外 講座	講師派遣 ・ 広島県の観光概況の説明
令和2年 1月16日(木)	広島県地域通訳案内士マッチ ングイベント	出展参加
令和2年 2月7日(金)	広島県観光連盟「安芸太田町 恐羅漢スノーパーク雪遊び体 験モニターツアー」	アドバイザー派遣 ・ Google マイビジネス活用 のアドバイス
令和2年 2月17日(月)	広島テレビインバウンドセミ ナー	事業共催 ・ ビューロー事業内容のプ レゼンテーション及び海 外旅行会社へのプロモー ションの解説



日本コンシェルジュ協会情報交換会



広島テレビインバウンドセミナー

イ 体験型イベントの実施

観光プロダクト開発に取り組む事業者のメニューを外国人観光客に体験してもらう機会を設けた。利用者の声を踏まえて一緒にイベントを振り返り、商品化を促進するとともに、すでに商品化に着手している事業者には商品の改善につながるよう助言を行った。

回数	開催日	会場	出展社	来場者数
第1回	令和元年 7月4日(木)	広島国際会議場 (インバウンド 受入ビジネスフ ェア会場)	6社 ひろしまきもの遊び、 和香房ゆあん、My Japan、弓道体験道場 射楽、高山清、かえる 整骨院	延べ60人
第2回	令和元年 10月8日(火) ～10日(木)	おりづるタワー 物産館 催事場	5社 1+1、綿岡大雅園、 和ごころまなび、裏千 家 金子教室、おあた け手すき和紙保存会	延べ76人
第3回	令和元年 11月8日(金) ～10日(日)	ハノーバー庭園 (第58回 OSEAL フォーラムバザ ール会場)	3社 ひろしまきもの遊び、 高山清、劇団小豆組	延べ109人
第4回	令和元年 11月9日(土)	広島国際会議場 (第58回 OSEAL フォーラム会 場)	2社 ひろしまきもの遊び、 データワークス	延べ8人
第5回	令和元年 11月4日(月) ～7日(木)	広島城二の丸 (広島城大菊花 展会場)	9社 GoGyo Japan、和ごこ ろまなび、My Japan、 高山清、弓道体験道場 射楽、ひろしまきもの 遊び、オフィス大義、 玄恵会、広島県地域通 訳案内士	延べ245人

(体験型イベントの様子)



スタンプを使ったグッズづくり体験



匂い袋づくり体験



殺陣体験



書道体験



着付け体験



弓道体験

ウ インバウンド総合展への共同出展

商品化された観光プロダクトについて、販路を拡大し、新規の顧客開拓に結びつけるため、「ツーリズムEXPOジャパン」のフェア in フェアである「インバウンド・観光ビジネス総合展2019」に観光プロダクト事業者と共同出展を行った。

併せて、海外旅行会社との商談会「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート 2019」に参加し、共同出展者と海外旅行会社との商談や成約を支援した。

- ・開催期間 令和元年10月24日(木)・25日(金)
- ・会場 インテックス大阪(大阪市)
- ・訪問者数 ビューローブース 約250人
- ・共同出展者 株式会社okeiko Japan、弓道体験道場 射楽、sokoiko!(株式会社 mint)、中国ジェイアールバス株式会社



エ 情報提供の強化

JNTO海外事務所を通じて、海外の旅行会社や観光客に向けた情報発信を行った。

実施日	内容	取扱海外事務所
令和元年 5月9日(木)	広島初! 弓道体験	ローマ、パリ、シドニー
令和元年 6月27日(木)	浴衣姿で日本庭園を満喫	シドニー
令和元年 7月12日(金)	2019 広島湾ナイトクルージング	ニューヨーク、ロサンゼルス、シドニー
令和元年 7月29日(月)	本格寿司体験	シドニー
令和元年 10月30日(水)	ひろしまドリミネーション2019	香港、ジャカルタ、シドニー、ニューデリー
令和元年 12月16日(月)	西条 酒蔵通り観光のご案内	シドニー

実施日	内容	取扱海外事務所
令和2年 1月29日(水)	広島でサムライ・殺陣体験	モスクワ
令和2年 2月10日(月)	日本で唯一、水陸両用機の定期遊覧 飛行を行う「せとうち SEAPLANES」	モスクワ、香港

3 観光宣伝・誘致活動推進事業

(1) 観光客誘致プロモーション活動

ア 国内観光客への宣伝・誘致活動

(ア) 「ツーリズムEXPOジャパン2019」への参加

- ・開催期間 令和元年10月24日(木)～27日(日)
- ・会場 インテックス大阪(大阪市)
- ・来場者数 151,099人

※広島・宮島・岩国地方観光連絡協議会が瀬戸内・松山ツーリズム推進会議と共同出展した「ひろしま・せとうち」ブースに、同協議会の会員として参加

(イ) 宮島・広島・岩国・呉・廿日市共催首都圏観光宣伝隊への参加

- ・期間 令和元年12月3日(火)～5日(木)
- ・場所 東京都内
- ・訪問件数 47件



ツーリズムEXPOジャパン



宮島・広島・岩国・呉・廿日市
共催首都圏観光宣伝隊

イ 外国人観光客への宣伝・誘致活動

各種商談会、フォーラム等に参加し、訪日旅行取扱旅行会社を中心にプロモーション活動を行った。

また、JNTOのロサンゼルス、シドニー、パリなど22の海外事務所等を情報拠点として活用し、観光ガイドマップ等を現地の旅行会社や一般消費者へ配布し、広島のPRを行った。

【商談会、フォーラム等への参加実績】

名 称	時 期	場 所
VISIT JAPANトラベル&MICEマート 2019参加 ・商談件数 34件	令和元年 10月24日(木) ～25日(金)	大阪市
第22回JNTOインバウンド旅行振興フォーラム参加 ・商談件数 5件	令和元年 9月12日(木) ～13日(金)	東京都
関係機関への誘致活動及びマーケット情報収集		
「せとうちエリア観光誘致会議」商談会・意見交換会 ・商談件数 7件	令和元年 10月15日(火)	岡山市
インバウンドマーケットEXPO2020 ・マーケット情報収集 5件	令和2年 2月20日(木) ～21日(金)	千葉市



VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2019 での商談の様子

【JNTO海外事務所等への観光ガイドマップ等配布実績】

JNTO海外事務所等	ようこそ！広島へ		きんさいひろしま (英)
	言語	配布部数	配布部数
ソウル事務所	韓国語	630部	—
北京事務所	簡体字	630部	—
広州事務所		—	—
上海事務所	簡体字	630部	—
香港事務所	繁体字	630部	—
デリー事務所	英語	400部	1,000部
ジャカルタ事務所	英語	230部	150部
シンガポール事務所	英語	400部	150部

J N T O 海外事務所等	ようこそ！広島へ		きんさいひろしま (英)
	言語	配布部数	配布部数
バンコク事務所	タイ語	6 3 0 部	—
マニラ事務所		—	—
ハノイ事務所		—	—
クアラルンプール事務所	英語	5 0 0 部	1 5 0 部
シドニー事務所	英語	7, 4 0 0 部	1 5 0 部
ニューヨーク事務所	英語	4 0 0 部	1 5 0 部
ロサンゼルス事務所	英語	2 9 9 部	1 5 0 部
トロント事務所	英語	9 0 0 部	—
	フランス語	5 0 0 部	
ローマ事務所	イタリア語	9 0 0 部	—
ロンドン事務所	英語	1, 9 0 0 部	—
マドリッド事務所	スペイン語	2, 7 0 0 部	—
フランクフルト事務所	ドイツ語	7 3 0 部	—
	英語	2 0 0 部	
パリ事務所	フランス語	5 3 0 部	—
モスクワ事務所	ロシア語	4 6 0 部	—
(公財)日本台湾交流協会台北事務所	繁体字	6 3 0 部	—

※「ようこそ！広島へ」… 着地型パンフレット（広島を周遊してもらうことを目的としたパンフレット）

「きんさい ひろしま」… 発地型パンフレット（広島へ来てもらうことを目的としたパンフレット）

(2) 地域観光の推進

観光情報を発信する祭り・イベント等を支援し、地域観光の推進を図った。

ア 第32回湯の山温泉桜まつり

- ・開催日 平成31年4月14日（日）
- ・会場 クアハウス湯の山前特設会場ほか
- ・実施主体 湯の山温泉まつり実行委員会

イ 第29回湯来温泉ホテルまつり

- ・開催日 令和元年6月22日（土）～6月30日（日）
- ・場所 湯来交流体験センター
- ・実施主体 湯来温泉観光商工同業組合

(3) 観光宣伝物作成

広島への観光客誘致を推進するため、着地型パンフレット「ようこそ！広島へ観光ガイドマップ」を作成した。

区 分	名 称	言 語	数 量
国内向け 観光 パンフレット	きんさいひろしま	日本語	—
	ようこそ！広島へ 観光ガイドマップ	日本語	203,550部
外国人向け 観光 パンフレット	きんさいひろしま (HIROSHIMA Come Explore Hiroshima and its two World Heritage Sites)	英語	—
	ようこそ！広島へ 観光ガイドマップ	英語	77,537部
		中国語簡体字	6,000部
		中国語繁体字	6,200部
		フランス語	10,000部
		スペイン語	8,000部
		イタリア語	4,800部
		ドイツ語	4,200部
		ロシア語	1,000部
		ハングル	7,000部
		タイ語	1,000部

※「きんさいひろしま」日本語版・英語版は在庫があったため、今年度は作成していない。

(4) 親善交流

観光親善大使を含む訪問団を結成して広島市と相互交流のある都市を訪れ、行政・メディア・観光協会等関係諸機関への観光PRを実施するとともに親善訪問団受入を実施することにより、都市間の親善交流を図った。

ア 親善訪問

名 称	時 期	場 所
第32回浜田市親善訪問	令和元年8月3日(土)	浜田市
第39回沖縄親善訪問	令和元年8月23日(金)～8月26日(月)	沖縄市
第40回北広島市親善訪問	令和元年9月5日(木)～8日(日)	北広島市

イ 親善訪問団受入

名 称	時 期
広島東洋カープ沖縄協力会	平成31年4月10日(水)
	令和元年7月19日(金)
北広島市子ども大使	令和元年8月5日(日)、6日(月)
東温市観光PRキャラバン	令和2年1月15日(水)



浜田市親善訪問



沖縄親善訪問



北広島市親善訪問



広島東洋カープ沖縄協力会



北広島市子ども大使



東温市観光PRキャラバン

(5) 観光親善大使による観光宣伝活動

広島市の代表にふさわしい意欲あふれる観光親善大使3人を選考し、観光関連事業において観光PRを行うとともに広島観光親善大使ブログ等SNSによる情報発信を行い、広島への観光客誘致を推進した。

【実績】 派遣件数 50件



ライオンズクラブ国際協会
第58回 OSEAL フォーラム



広島市広報番組出演(ドリミネーション)



ひろしまフードスタジアム冬の陣



大使ブログ



大使フェイスブック

4 観光施設管理運営等受託事業

(1) 観光案内所の運営

広島市観光案内所を年中無休で運営し、広島市及びその周辺地域を訪れる国内外の観光客の利便性の向上を図った。

ア 設置場所及び営業時間

(ア) 平和記念公園内

10:00～17:00

(8月5日 8:30～20:00、8月6日 7:30～20:00)

(イ) 紙屋町地下街 (シャレオ)

11:00～17:00

※ 上記の両観光案内所は、JNTO（日本政府観光局）が広域案内かつ常時英語対応可を要件とする「外国人観光案内所」カテゴリ2として認定されている。

イ 案内件数

場 所	案 内 件 数	うち外国人対応
平和記念公園内	26,532件	13,400件
紙屋町地下街 (シャレオ)	12,888件	3,613件
合 計	39,420件	17,013件

(2) 来広観光客等動向調査

来広観光客の質的構成や動態をアンケート等により調査するとともに、広島市の観光情報に係る観光概況データを収集した。

ア 来広観光客アンケート調査

年4回（5月、8月、10月、12月）、広島市を訪れた観光客を対象にアンケート調査を行った。（回収数 800人）

イ 入込観光客調査

宿泊、観光施設及び交通機関等を対象に入込観光客調査（323件）を行った。

(3) ひろしまライトアップ事業の運営その他

「広島祭委員会」、「ひろしまライトアップ事業実行委員会」の事務局分室を設置し、下記の事業を開催することにより、広島への観光客誘致を推進した。

名 称	主 催	時 期	備 考
2019ひろしま フラワーフェスティ バル	ひろしまフラワーフェスティ バル実行委員会	令和元年5月3日(金) ～5日(日)	観客数：約 170万人
大文字まつり	広島祭委員会・大文字保存 会・中国新聞社	令和元年5月25日(土) ・26日(日)	
七夕まつり	広島祭委員会・広島市商店 街連合会・中国新聞社	令和元年7月1日(月) ～7月10日(水)	6商店街で 実施
広島湾ナイトクル ージング	広島湾ナイトクルージング 実行委員会	令和元年7月13日(土) ～10月31日(木)	(再掲)
2019広島みな と 夢 花火大会	広島祭委員会、広島港まつ り委員会、広島観光コンベン ションビューロー、中国 新聞社	令和元年7月27日(土)	見物客数： 約44万人
ピースメッセージ とうろう流し	広島祭委員会・広島市商店 街連合会・中国新聞社	令和元年8月6日(火)	とうろう： 約1万個
広島城大菊花展	広島祭委員会・広島菊友 会・広島市・中国新聞社	令和元年10月26日(土) ～11月10日(日)	来場者数： 約20万人
ひろしまドリミネ ーション2019	ひろしまライトアップ事業 実行委員会	令和元年11月15日(金) ～令和2年1月3日(金)	来場者数： 約74万人



ひろしまフラワーフェスティバル



広島みなと 夢 花火大会



広島城大菊花展



ひろしまドリミネーション

(4) ホームページの運営

広島広域観光情報サイト「ひろたび (<https://www.hiroshima-navi.or.jp/>)」及び「Explore Hiroshima」を運営するとともに、SNS（日本語、英語）を活用した国内外への最新情報の発信により、広島への観光客誘致を推進した。

【広島広域観光情報サイト「ひろたび」及び「Explore Hiroshima」の運用実績】

- ・種類 日本語版、英語版、中国語版（簡体字版・繁体字版）ハングル版、フランス語版、ドイツ語版、タイ語版
全言語スマートフォン対応
- ・訪問者数 292万人
- ・ページビュー数 573万ページビュー

【SNSの活用状況】

- ・種類 Facebook、Twitter、Instagram、YouTube
- ・総フォロワー数 8,642人

(5) フィルム・コミッション事業の運営

広島での映画、テレビドラマ等のロケ撮影の誘致・支援を行い、広島発の映像情報の発信などにより、広島のイメージアップを図るとともに、広島への観光客誘致を推進した。

ア ロケ撮影の誘致

映画監督、プロデューサー等の映像制作者が一堂に集う国内外のトレードショーや映画祭を面談の機会ととらえ、映像制作者のアポイントを取って個別にロケ撮影誘致活動を行った。

区分	事業名	時期	場所	面談者数
映像関連イベント	リンク・オブ・シネアジア（プサン国際映画祭関連）参加	令和元年10月4日（金）～9日（水）	プサン（韓国）	82名
	ジャパン・コンテンツ・ショーケース（東京国際映画祭関連）参加	令和元年10月22日（火）～24日（木）	東京都	36名
	広島国際映画祭の参加映像制作者への誘致活動	令和元年11月22日（金）～24日（日）	広島市	46名
	ジャパン・フィルムコミッション（JFC）全国ロケ地フェア出展	令和2年1月23日（木）	東京都	44名
映像制作者訪問等による誘致活動		随時	東京都 広島市	93名

【実績】誘致件数 20件（内訳：映画10件、ドキュメンタリー映画4件、テレビ番組5件、その他1件）



リンク・オブ・シネアジアでロケ撮影誘致活動



広島国際映画祭の参加映像制作者

イ ロケ撮影の支援

ロケ地情報の提供、施設の使用調整・許可申請手続、ボランティア・エキストラの募集、ロケハン同行・ロケ撮影立会等を行い、ロケ撮影を支援した。

区 分	支 援 件 数
映画	16件
テレビ	125件
WEB	25件
その他（プロモーションビデオ、雑誌 等）	61件
計	227件

※主な支援作品

- ・映画「風の電話」（諏訪敦彦監督、ベルリン国際映画祭 国際審査員特別賞受賞）
- ・映画「The Irradiated」（リティ・パン監督(カンボジア)、ベルリン国際映画祭 ドキュメンタリー賞受賞）
- ・映画「朝が来る」（河瀬直美監督、カンヌ国際映画祭 出品予定）
- ・映画「海辺の映画館」（大林宣彦監督、広島国際映画祭 ヒロシマ平和賞受賞）
- ・映画「お母さんの被爆ピアノ」（五藤利弘監督）
- ・NHKテレビ番組「ヒロシマの画家 四國五郎が伝える戦争の記憶」
- ・テレビ番組「Japan Discovery」
- ・Webテレビドラマ「不倫食堂」
- ・全国版テレビCM(有名ハウスメーカー)

ほか



映画「風の電話」ポスター



映画「朝が来る」のロケ撮影風景



映画「おかあさんの被爆ピアノ」のロケ撮影風景

ウ ロケ撮影環境の整備

市民に対しロケ撮影に関する講演会やパネル展の開催及びメールマガジンによる情報発信等のプロモーション活動を行い、フィルム・コミッション事業に対する理解・協力を促すとともに、関係支援団体とも連携を図って、ロケ撮影のしやすい環境づくりを行った。

(ア) 広島フィルム・コミッションPRパネル展の開催

支援アニメ映画「この世界の片隅に」の原画パネル展

会 場：倉掛公民館、中央公民館

(イ) 広島国際映画祭でのPR

a 広島に関連する7作品の上映及びゲストトークショーを開催

b 広島フィルム・コミッションPRパネル等の展示



広島フィルム・コミッションPRコーナー



アニメ映画「この世界の(さらにいくつもの)片隅に」PRコーナー

エ 映像コンテンツ販売の支援

広島を題材に撮影された映像コンテンツの販売促進を支援した。

事 業 名	時 期	場 所
リンク・オブ・シネアジア（プサン国際映画祭関連）参加	令和元年10月4日(金) ～9日(水)	プサン (韓国)
ジャパン・コンテンツ・ショーケース（東京国際映画祭関連）参加	令和元年10月22日(火) ～24日(木)	東京都

オ フィルム・コミッション間の連携

国際フィルムコミッショナーズ協会(AFCI)、アジア・フィルムコミッション・ネットワーク(AFCNet)、ジャパン・フィルムコミッション(JFC)、フィルム・コミッション中国ブロック会議に参加することなどにより、意見交換、情報収集に努め、フィルム・コミッション間の連携を強化した。

(6) 観光宣伝物作成

広島市が設置する街角観光案内所「トラベルパル」及び「トラベルパル・インターナショナル」で配布する観光パンフレットを作成した。

パンフレットの名称	言 語	数 量
ようこそ！広島へ観光ガイドマップ	日本語	74,650部
	英語	56,663部
	中国語簡体字	2,400部
	中国語繁体字	2,400部
	フランス語	6,000部
	スペイン語	3,000部
	イタリア語	3,000部
	ドイツ語	3,600部
	ロシア語	1,200部
	ハングル	1,200部
	タイ語	3,000部

【その他】

I その他事業

1 賛助会員向け事業

(1) 会報の発行

コンベンションの開催情報や当ビューローの活動状況等を掲載した会報「Monthly News」を発行し、賛助会員等へ情報提供を行った。（毎月530部）

(2) 優良従業員表彰及び賛助会員交流会の実施

賛助会員の企業・団体に勤務する優秀な従業員を表彰し、観光事業及びコンベンション振興事業の健全な発展及び観光客への接遇向上を図った。また、併せて賛助会員交流会を開催し、賛助会員同士の交流を深めた。

ア 優良従業員表彰式

- ・開催日 令和2年2月12日(水)
- ・会場 ANAクラウンプラザホテル広島
- ・受賞者数 37人(14社)



イ 賛助会員交流会

- ・開催日 令和2年2月12日(水)
- ・会場 ANAクラウンプラザホテル広島
- ・参加者数 132人



2 職員の研修事業

J N T OやJ C C B等が主催する実務担当職員を対象とした研修会等に職員を参加させ、M I C E誘致や開催ノウハウを習得させた。

- ・ J S T A社員総会

派遣日 令和元年5月23日(木)

研修会場 東京ビックサイト

派遣人数 1人

- ・ J N T O M I C Eセミナー～初級者対象～

派遣期間 令和元年5月30日(木)～31日(金)

研修会場 トラストシティ・カンファレンス丸の内

派遣人数 2人

- ・ 一般社団法人日本コンベンション協会(J C M A) 社員総会

派遣日 令和元年6月11日(火)

研修会場 六本木アカデミーヒルズ

派遣人数 3人

- ・ J C C B令和元年度総会

派遣日 令和元年6月17日(月)

研修会場 京王プラザホテル

派遣人数 2人

- ・ 国際コンベンションシンポジウム

派遣期間 令和元年7月9日(火)～10日(水)

研修会場 富山国際会議場

派遣人数 1人

- ・ J C C B第1回コンベンション・ビューロー部会

派遣期間 令和元年7月18日(木)～19日(金)

研修会場 コラッセ福島及び福島市内M I C E関連施設等

派遣人数 1人

- ・ J C C B第2回コンベンション・ビューロー部会

派遣期間 令和元年12月3日(火)～4日(水)

研修会場 かずさアカデミアホール及び木更津市内M I C E関連施設等

派遣人数 1人

- ・ J C C B下期人材育成研修会

派遣期間 令和2年2月3日(月)～4日(火)

研修会場 J N T O会議室、国立科学博物館大会議室

派遣人数 2人

- ・第1回横浜グローバルMICEフォーラム
派遣期間 令和元年2月20日(木)～21日(金)
研修会場 パシフィコ横浜、岡田美術館(小田原)等
派遣人数 1人

3 観光資源の維持管理

観光ライトアップ設備、観光サイン及び「灯和の径」等の維持補修を行った。

(参 考)

無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

ア 土地及び建物

名 称	所 在 地	区分	現 在 高
広島国際会議場	中区中島町1番5号	土地	駐車場 12.50㎡
		建物	事務室等 161.30㎡

第2表 決算報告書

決 算 報 告 書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

貸 借 対 照 表
令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
(1) 現金預金	53,837,543	45,394,839	8,442,704
(2) 未収金	405,000	461,270	△ 56,270
(3) 前払金	30,000	57,000	△ 27,000
(4) 短期貸付金	1,000,000	0	1,000,000
流動資産合計	55,272,543	45,913,109	9,359,434
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	977,050,760	977,040,040	10,720
定期預金	749,240	759,960	△ 10,720
基本財産合計	977,800,000	977,800,000	0
(2) その他固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	5	5	0
電話加入権	446,920	446,920	0
敷金	1,818,000	1,818,000	0
長期貸付金	3,000,000	3,000,000	0
その他固定資産合計	5,264,927	5,264,927	0
固定資産合計	983,064,927	983,064,927	0
資産合計	1,038,337,470	1,028,978,036	9,359,434
II 負債の部			
1 流動負債			
(1) 未払金	46,204,617	38,008,538	8,196,079
(2) 未払消費税等	653,200	1,492,800	△ 839,600
(3) 前受金	132,000	335,160	△ 203,160
(4) 預り金	2,594,310	2,713,424	△ 119,114
(5) 賞与引当金	9,363,837	10,169,243	△ 805,406
(6) 短期借入金	1,000,000	0	1,000,000
流動負債合計	59,947,964	52,719,165	7,228,799
2 固定負債			
(1) 長期借入金	3,000,000	3,000,000	0
(2) 退職給付引当金	72,455,201	66,362,434	6,092,767
固定負債合計	75,455,201	69,362,434	6,092,767
負債合計	135,403,165	122,081,599	13,321,566
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
(1) 寄付金(広島市)	977,800,000	977,800,000	0
指定正味財産合計	977,800,000	977,800,000	0
(うち基本財産への充当額)	(977,800,000)	(977,800,000)	0
2 一般正味財産	△ 74,865,695	△ 70,903,563	△ 3,962,132
正味財産合計	902,934,305	906,896,437	△ 3,962,132
負債及び正味財産合計	1,038,337,470	1,028,978,036	9,359,434

貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
(1) 現金預金	39,987,271	23,221,405	△ 9,371,133		53,837,543
(2) 未収金	405,000				405,000
(3) 前払金	25,700		4,300		30,000
(4) 短期貸付金	1,000,000				1,000,000
流動資産合計	41,417,971	23,221,405	△ 9,366,833	0	55,272,543
2 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	866,644,025	56,668,943	53,737,792		977,050,760
定期預金	664,575	43,457	41,208		749,240
基本財産合計	867,308,600	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
(2) その他固定資産					
車両運搬具	2				2
什器備品	5				5
電話加入権	393,290	22,346	31,284		446,920
敷金			1,818,000		1,818,000
長期貸付金	3,000,000				3,000,000
その他固定資産合計	3,393,297	22,346	1,849,284	0	5,264,927
固定資産合計	870,701,897	56,734,746	55,628,284	0	983,064,927
資産合計	912,119,868	79,956,151	46,261,451	0	1,038,337,470
II 負債の部					
1 流動負債					
(1) 未払金	35,446,765	3,366,171	7,391,681		46,204,617
(2) 未払消費税等	653,200				653,200
(3) 前受金	132,000				132,000
(4) 預り金	2,359,634	30,994	203,682		2,594,310
(5) 賞与引当金	8,147,537	208,230	1,008,070		9,363,837
(6) 短期借入金	1,000,000				1,000,000
流動負債合計	47,739,136	3,605,395	8,603,433	0	59,947,964
2 固定負債					
(1) 長期借入金	3,000,000				3,000,000
(2) 退職給付引当金			72,455,201		72,455,201
固定負債合計	3,000,000	0	72,455,201	0	75,455,201
負債合計	50,739,136	3,605,395	81,058,634	0	135,403,165
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
(1) 寄付金(広島市)	867,308,600	56,712,400	53,779,000		977,800,000
指定正味財産合計	867,308,600	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
(うち基本財産への充当額)	(867,308,600)	(56,712,400)	(53,779,000)		(977,800,000)
2 一般正味財産	△ 5,927,868	19,638,356	△ 88,576,183		△ 74,865,695
正味財産合計	861,380,732	76,350,756	△ 34,797,183	0	902,934,305
負債及び正味財産合計	912,119,868	79,956,151	46,261,451	0	1,038,337,470

正 味 財 産 増 減 計 算 書
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	16,317,333	16,631,770	△ 314,437	
② 受取会費				
賛助会費受取会費	12,300,000	12,512,500	△ 212,500	
③ 事業収益	96,394,747	133,991,625	△ 37,596,878	
広告事業収益	2,260,320	1,669,000	591,320	
観光親善大使派遣事業収益	544,000	449,500	94,500	
広島市受託収益	93,590,427	131,873,125	△ 38,282,698	
④ 受取負担金				
受取負担金	3,192,800	3,156,000	36,800	
⑤ 受取補助金等				
受取広島市補助金	221,027,329	176,892,237	44,135,092	
⑥ 雑収益	96,593	130,441	△ 33,848	
受取利息	422	441	△ 19	
雑収益	96,171	130,000	△ 33,829	
経常収益計	349,328,802	343,314,573	6,014,229	
(2) 経常費用				
① 事業費	300,091,290	291,651,641	8,439,649	
役員報酬	8,125,357	8,115,775	9,582	
給料手当等	145,018,124	133,717,785	11,300,339	
賞与引当金繰入	8,355,767	9,224,242	△ 868,475	
退職給付費用	308,400	308,400	0	
福利厚生費	29,572,678	28,064,153	1,508,525	
賃金	11,500,229	4,100,984	7,399,245	
報償費	1,313,059	1,325,934	△ 12,875	
普通旅費	6,309,111	7,460,077	△ 1,150,966	
消耗品費等	5,961,921	4,949,008	1,012,913	
燃料費	262,451	299,391	△ 36,940	
食糧費	1,319,454	1,721,702	△ 402,248	
光熱水費	1,021,729	1,052,478	△ 30,749	
修繕料	575,240	799,826	△ 224,586	
通信運搬費	2,556,430	2,501,686	54,744	
手数料等	692,102	701,002	△ 8,900	
保険料	293,520	316,950	△ 23,430	
委託料	32,425,952	50,256,797	△ 17,830,845	
使用料及び賃借料	8,825,207	8,443,856	381,351	
備品購入費	0	284,364	△ 284,364	
負担金、補助及び交付金	30,581,959	22,155,131	8,426,828	
公課費	5,072,600	5,852,100	△ 779,500	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
② 管理費	53,199,644	52,962,076	237,568	
役員報酬	7,062,227	7,053,905	8,322	
給料手当等	11,682,888	15,882,283	△ 4,199,395	
賞与引当金繰入	1,008,070	945,001	63,069	
退職給付費用	8,989,554	4,128,296	4,861,258	
福利厚生費	4,187,628	4,140,338	47,290	
賃金	1,782,185	1,488,242	293,943	
報償費	96,000	198,000	△ 102,000	
普通旅費	126,380	181,000	△ 54,620	
交際費	27,500	30,000	△ 2,500	
消耗品費等	787,594	350,129	437,465	
食糧費	33,128	63,205	△ 30,077	
光熱水費	811,440	956,573	△ 145,133	
通信運搬費	1,126,272	1,055,080	71,192	
手数料等	165,570	143,370	22,200	
委託料	1,093,597	2,254,770	△ 1,161,173	
使用料及び賃借料	10,517,427	10,414,388	103,039	
負担金、補助及び交付金	3,621,184	3,606,496	14,688	
公課費	81,000	71,000	10,000	
經常費用計	353,290,934	344,613,717	8,677,217	
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 3,962,132	△ 1,299,144	△ 2,662,988	
当期經常増減額	△ 3,962,132	△ 1,299,144	△ 2,662,988	
2 經常外増減の部				
(1) 經常外収益			0	
(2) 經常外費用			0	
当期經常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,962,132	△ 1,299,144	△ 2,662,988	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 3,962,132	△ 1,299,144	△ 2,662,988	
一般正味財産期首残高	△ 70,903,563	△ 69,604,419	△ 1,299,144	
一般正味財産期末残高	△ 74,865,695	△ 70,903,563	△ 3,962,132	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	977,800,000	977,800,000	0	
指定正味財産期末残高	977,800,000	977,800,000	0	
III 正味財産期末残高	902,934,305	906,896,437	△ 3,962,132	

正味財産増減計算書内訳表
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科	目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		コソバ・ソコバ振興事業	観光振興事業	小計	レストラン・売店運営事業	その他事業			
I 一般正味財産増減の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益		10,509,630	3,963,844	14,473,474		946,406	897,453		16,317,333
② 受取会費			8,025,000	8,025,000					
③ 事業収益		1,084,560	87,915,173	88,999,733		7,395,014	4,275,000		12,300,000
		1,084,560	1,175,760	2,260,320					96,394,747
			544,000	544,000					2,260,320
			86,195,413	86,195,413		7,395,014			544,000
④ 受取負担金			2,714,800	2,742,800		450,000			93,590,427
⑤ 受取補助金等		28,000							3,192,800
⑥ 雑収益		99,867,614	76,436,420	176,304,034			44,723,295		221,027,329
		31,171	50,010	81,181		412	15,000		96,593
		31,171	50,000	81,171		412			422
							15,000		96,171
経常収益計		111,520,975	179,105,247	290,626,222	0	8,791,832	49,910,748	0	349,328,802
(2) 経常費用									
① 事業費									
役員報酬		111,697,141	179,292,819	290,989,960		9,101,330			300,091,290
給料手当等		3,569,082	4,556,275	8,125,357					8,125,357
賞与引当金繰入		48,811,668	93,006,930	141,818,598		3,199,526			145,018,124
退職給付費用		2,777,003	5,370,534	8,147,537		208,230			8,355,767
福利厚生費		96,000	212,400	308,400					308,400
賃金		9,875,704	19,120,158	28,995,862		576,816			29,572,678
報償費		1,288,830	10,211,399	11,500,229					11,500,229
普通旅費		252,500	1,060,559	1,313,059					1,313,059
消耗品費等		4,321,698	1,505,843	5,827,541		481,570			6,309,111
燃料費		3,103,177	2,754,930	5,858,107		103,814			5,961,921
食糧費		144,778	117,673	262,451					262,451
光熱水費		319,220	333,585	652,805		666,649			1,319,454
修繕料		21,650	110,170	131,820					1,021,729
通信運搬費		992,964	1,373,834	2,366,798		1,021,729			575,240
手数料等		46,308	645,794	692,102		443,420			2,556,430
保険料		94,080	199,440	293,520		189,632			692,102
委託料		8,027,334	22,763,619	30,790,953		1,634,999			293,520
使用料及び賃借料		3,727,469	5,007,593	8,735,062		90,145			32,425,952
備品購入費									8,825,207
負担金、補助及び交付金		24,191,176	6,253,983	30,445,159		136,800			30,581,959
公課費		36,500	4,688,100	4,724,600		348,000			5,072,600

科	目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		コンベンション振興事業	観光振興事業	小計	レストラン売店運営事業	その他事業	小計			
②	管理費	0	0	0	0	0	0	53,199,644		53,199,644
	役員報酬							7,062,227		7,062,227
	給料手当等							11,682,888		11,682,888
	賞与引当金繰入							1,008,070		1,008,070
	退職給付費用							8,989,554		8,989,554
	福利厚生費							4,187,628		4,187,628
	賃金							1,782,185		1,782,185
	報償費							96,000		96,000
	普通旅費							126,380		126,380
	交際費							27,500		27,500
	消耗品費等							787,594		787,594
	食糧費							33,128		33,128
	光熱水費							811,440		811,440
	通信運搬費							1,126,272		1,126,272
	手数料等							165,570		165,570
	委託料							1,093,597		1,093,597
	使用料及び賃借料							10,517,427		10,517,427
	負担金、補助及び交付金							3,621,184		3,621,184
	公課費							81,000		81,000
	経常費用計	111,697,141	179,292,819	290,989,960	0	9,101,330	9,101,330	53,199,644	0	353,290,934
	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 176,166	△ 187,572	△ 363,738	0	△ 309,498	△ 309,498	△ 3,288,896	0	△ 3,962,132
	当期経常増減額	△ 176,166	△ 187,572	△ 363,738	0	△ 309,498	△ 309,498	△ 3,288,896	0	△ 3,962,132
2	経常外増減の部									
(1)	経常外収益							0		0
(2)	経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期経常外増減額							0		0
	他会計振替額							0		0
	税引前当期一般正味財産増減額	△ 176,166	△ 187,572	△ 363,738	0	△ 309,498	△ 309,498	△ 3,288,896	0	△ 3,962,132
	法人税、住民税及び事業税									
	当期一般正味財産増減額	△ 176,166	△ 187,572	△ 363,738	0	△ 309,498	△ 309,498	△ 3,288,896	0	△ 3,962,132
	一般正味財産期首残高	7,017,161	△ 12,581,291	△ 5,564,130	20,676,527	△ 728,673	19,947,854	△ 85,287,287		△ 70,903,563
	一般正味財産期末残高	6,840,995	△ 12,768,863	△ 5,927,868	20,676,527	△ 1,038,171	19,638,356	△ 88,576,183	0	△ 74,865,695
II	指定正味財産増減の部									
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高	867,308,600	0	867,308,600	0	56,712,400	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
	指定正味財産期末残高	867,308,600	0	867,308,600	0	56,712,400	56,712,400	53,779,000	0	977,800,000
III	正味財産期末残高	874,149,595	△ 12,768,863	861,380,732	20,676,527	55,674,229	76,350,756	△ 34,797,183	0	902,934,305

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券は取得価額による原価法を採用している（償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。）。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品……最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価の切り下げの方法により算定）によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び什器備品……定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員の賞与の支給に備えるため、支給対象期間に対応する支給見込額を計上している。

退職給付引当金……職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	977,040,040	10,720	0	977,050,760
定期預金	759,960	0	10,720	749,240
合 計	977,800,000	10,720	10,720	977,800,000

3 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	977,050,760	(977,050,760)	(ー)	(ー)
定期預金	749,240	(749,240)	(ー)	(ー)
合 計	977,800,000	(977,800,000)	(ー)	(ー)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	2,088,500	2,088,498	2
什器備品	851,581	851,576	5
合 計	2,940,081	2,940,074	7

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第 5 1 回利付国債	45,433,280	44,863,800	△ 569,480
第 1 0 9 回利付国債	295,413,000	352,230,000	56,817,000
第 1 2 1 回利付国債	296,391,000	357,630,000	61,239,000
第 1 5 9 回利付国債	80,601,480	85,001,400	4,399,920
第 1 6 4 回利付国債	59,676,000	62,040,000	2,364,000
第 6 回道路機構債	199,536,000	203,480,000	3,944,000
合 計	977,050,760	1,105,245,200	128,194,440

- 6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
コンベンション振興事業補助金	広島市	0	86,037,823	86,037,823	0	—
観光事業補助金	広島市	0	62,379,192	62,379,192	0	—
管理運営補助金	広島市	0	72,610,314	72,610,314	0	—
合 計		0	221,027,329	221,027,329	0	

附 属 明 細 書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
 財務諸表に対する注記の「2 基本財産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。
- 2 引当金の明細
 引当金の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	66,362,434	8,937,954	2,845,187	0	72,455,201
賞与引当金	10,169,243	9,363,837	10,169,243	0	9,363,837

財 産 目 録

令和２年３月３１日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金・預金	普通預金 広島銀行大手町支店	運転資金として	37,212,848	
		広島信用金庫八丁堀支店	〃	5,061,962	
		もみじ銀行広島中央支店	〃	8,000,114	
		広島市信用組合本店営業部	〃	562,619	
		定期預金 広島信用金庫八丁堀支店	〃	3,000,000	
	未収金	広告掲載業者ほか	広告掲載料等の未収分	405,000	
	前払金	退職共済積立金等	職員の退職共済積立金	30,000	
短期貸付金	第１１回分子インプリンティングに関する国際会議	コンベンション開催準備資金の貸付	1,000,000		
流動資産合計				55,272,543	
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	第５１回利付国債	満期保有目的の共用財産であり、運用益の８８．７％を公益目的事業に、５．５％を管理運営に、５．８％をその他事業に供している。	45,433,280
			第１０９回利付国債	〃	295,413,000
			第１２１回利付国債	〃	296,391,000
			第１５９回利付国債	〃	80,601,480
			第１６４回利付国債	〃	59,676,000
			第６回道路機構債	〃	199,536,000
		定期預金	広島市信用組合本店営業部	共用財産であり、運用益の８８．７％を公益目的事業に、５．５％を管理運営に、５．８％をその他事業に供している。	749,240
	その他固定資産	車両運搬具	車両２台	公益目的保有財産であり、公益目的事業に供している。	2
		什器備品	パソコン２台、歓迎用看板土台１基、スーツケース２個	〃	5
		電話加入権	電話８回線	共用財産であり、８８％を公益目的保有財産として公益目的事業に、７％を管理運営に、５％を収益等事業に供している。	446,920
		敷金	広島商工会議所	広島商工会議所ビル内事務室の賃借契約に基づく敷金	1,818,000
		長期貸付金	研究支援担当専門職能団体の国際ネットワーク2020年世界大会	コンベンション開催準備資金の貸付	3,000,000
		固定資産合計			
資産合計				1,038,337,470	
(流動負債)	未払金	厚生労働省年金局（広島東）ほか	令和元年度社会保険料等の未払分	46,204,617	
	未払消費税等	広島西税務署	令和元年度消費税等の未払分	653,200	
	前受金	広告掲載業者	翌年度の広告掲載料	132,000	
	預り金	役員、職員等	源泉徴収所得税等の預り金	2,594,310	
	賞与引当金	役員、職員	役員、職員に対する賞与支払いに備えたもの	9,363,837	
	短期借入金	広島市	コンベンション開催準備資金	1,000,000	
	流動負債合計				59,947,964
(固定負債)	長期借入金	広島市からの借入金	コンベンション開催準備資金	3,000,000	
	退職給付引当金	職員	職員１８名に対する退職金の支払いに備えたもの	72,455,201	
固定負債合計				75,455,201	
負債合計				135,403,165	
正味財産合計				902,934,305	

収 支 計 算 書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
① 基 本 財 産 利 息 収 入	16,310,000	16,317,333	△ 7,333	
(2) 会費収入				
① 賛 助 会 費 収 入	12,662,000	12,300,000	362,000	
(3) 事業収入	7,724,000	5,453,120	2,270,880	
① 広 告 収 入	3,539,000	2,260,320	1,278,680	ホームページ'広告収入等の減
② 負 担 金 収 入	4,185,000	3,192,800	992,200	
(4) 補助金収入				
① 広 島 市 補 助 金 収 入	235,257,000	221,027,329	14,229,671	人件費等の減
(5) 受託事業収入				
① 広 島 市 受 託 事 業 収 入	113,074,000	93,590,427	19,483,573	人件費等の減
(6) 雑収入				
① 雑 収 入	934,000	640,593	293,407	
(7) 貸付金返還収入				
① コンベンション開催準備資金貸付金返還収入	10,000,000	0	10,000,000	
事業活動収入計	395,961,000	349,328,802	46,632,198	
2 事業活動支出				
(1) コンベンション振興事業費支出	120,201,000	111,869,583	8,331,417	
① 情 報 収 集 事 業 費 支 出	1,714,000	1,695,131	18,869	
② コンベンションの誘致・支援事業費支出	40,373,727	35,110,405	5,263,322	負担金、補助及び交付金等の執行残
③ 広 報 ・ 宣 伝 事 業 費 支 出	4,672,000	3,645,267	1,026,733	負担金、補助及び交付金等の執行残
④ 調 査 ・ 企 画 事 業 費 支 出	562,000	509,147	52,853	
⑤ 事 務 費 支 出	1,073,273	1,005,254	68,019	
⑥ 人 件 費 支 出	71,806,000	69,904,379	1,901,621	給料手当等の執行残
(2) 観光事業費支出	101,193,000	93,711,999	7,481,001	
① 観光客の受入態勢整備事業費支出	5,541,871	4,093,581	1,448,290	委託料等の執行残
② 観光資源整備・開発事業費支出	1,635,129	1,549,396	85,733	
③ 観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	12,197,000	11,515,867	681,133	
④ 事 務 費 支 出	2,003,000	1,865,905	137,095	
⑤ 人 件 費 支 出	79,816,000	74,687,250	5,128,750	給料手当等の執行残
(3) 受託事業費支出				
① 観光施設管理運営等受託事業費支出	113,074,000	93,590,427	19,483,573	人件費等の執行残
(4) 貸付金支出				
① コンベンション開催準備資金貸付金支出	7,000,000	1,000,000	6,000,000	貸付件数減による執行残

科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備 考
(5) その他事業費支出	2,247,000	1,787,756	459,244	
① 賛助会員向け事業費支出	1,283,000	1,169,386	113,614	
② 職員の研修事業費支出	964,000	618,370	345,630	
(6) 管理費支出	49,761,000	47,043,808	2,717,192	
① 会議費支出	693,000	350,580	342,420	
② 事務費支出	20,725,000	19,918,697	806,303	
③ 人件費支出	28,343,000	26,774,531	1,568,469	給料手当等の執行残
事業活動支出計	393,476,000	349,003,573	44,472,427	
事業活動収支差額	2,485,000	325,229	2,159,771	
II 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
(1) 借入金収入	7,000,000	1,000,000	6,000,000	
① コンベンション開催準備資金借入金収入	7,000,000	1,000,000	6,000,000	広島市からの借入金収入の減
財務活動収入計	7,000,000	1,000,000	6,000,000	
2 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出	10,000,000	0	10,000,000	
① コンベンション開催準備資金借入金返済支出	10,000,000	0	10,000,000	広島市への借入金返済支出の皆減
財務活動支出計	10,000,000	0	10,000,000	
財務活動収支差額	△ 3,000,000	1,000,000	△ 4,000,000	
III 予備費支出	1,000,000	0	1,000,000	
当期収支差額	△ 1,515,000	1,325,229	△ 2,840,229	
前期繰越収支差額	1,444,000	3,363,187	△ 1,919,187	
次期繰越収支差額	△ 71,000	4,688,416	△ 4,759,416	

収 支 計 算 書 内 訳 表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 事業活動収支の部					
1 事業活動収入					
基本財産運用収入					
基 本 財 産 利 息 収 入	14,473,474	946,406	897,453		16,317,333
会費収入					
賛 助 会 費 収 入	8,025,000		4,275,000		12,300,000
事業収入	5,003,120	450,000			5,453,120
広 告 収 入	2,260,320				2,260,320
負 担 金 収 入	2,742,800	450,000			3,192,800
補助金収入					
広 島 市 補 助 金 収 入	176,304,034		44,723,295		221,027,329
受託事業収入					
広 島 市 受 託 事 業 収 入	86,195,413	7,395,014			93,590,427
雑収入					
雑 収 入	625,181	412	15,000		640,593
貸付金返還収入					
コンベンション開催準備 資金貸付金返還収入					0
事業活動収入計	290,626,222	8,791,832	49,910,748	0	349,328,802

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
2 事業活動支出					
コンベンション振興事業費支出	111,869,583				111,869,583
情報収集事業費支出	1,695,131				1,695,131
コンベンションの誘致・支援事業費支出	35,110,405				35,110,405
広報・宣伝事業費支出	3,645,267				3,645,267
調査・企画事業費支出	509,147				509,147
事務費支出	1,005,254				1,005,254
人件費支出	69,904,379				69,904,379
観光事業費支出	93,711,999				93,711,999
観光客の受入態勢整備事業費支出	4,093,581				4,093,581
観光資源整備・開発事業費支出	1,549,396				1,549,396
観光宣伝・誘致活動推進事業費支出	11,515,867				11,515,867
事務費支出	1,865,905				1,865,905
人件費支出	74,687,250				74,687,250
受託事業費支出					
観光施設管理運営等受託事業費支出	86,195,413	7,395,014			93,590,427
貸付金支出					
コンベンション開催準備資金貸付金支出	1,000,000				1,000,000
その他事業費支出		1,787,756			1,787,756
賛助会員向け事業費支出		1,169,386			1,169,386
職員の研修事業費支出		618,370			618,370
管理費支出			47,043,808		47,043,808
会議費支出			350,580		350,580
事務費支出			19,918,697		19,918,697
人件費支出			26,774,531		26,774,531
事業活動支出計	292,776,995	9,182,770	47,043,808	0	349,003,573
事業活動収支差額	△ 2,150,773	△ 390,938	2,866,940	0	325,229

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
II 財務活動収支の部					
1 財務活動収入					
借入金収入	1,000,000				1,000,000
コンベンション開催準備 資金借入金収入	1,000,000				1,000,000
財務活動収入計	1,000,000	0	0	0	1,000,000
2 財務活動支出					
借入金返済支出					0
コンベンション開催準備 資金借入金返済支出					0
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	1,000,000	0	0	0	1,000,000
III 予備費支出					0
当期収支差額	△ 1,150,773	△ 390,938	2,866,940	0	1,325,229
前期繰越収支差額	2,825,487	20,215,178	△ 19,677,478	0	3,363,187
次期繰越収支差額	1,674,714	19,824,240	△ 16,810,538	0	4,688,416

収 支 計 算 書 に 対 す る 注 記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、立替金、未払金、未払消費税等、未払法人税等、前受金及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目		前期末残高	当期末残高
資 産	現金預金	45,394,839	53,837,543
	未収金	461,270	405,000
	前払金	57,000	30,000
	立替金	0	0
	合 計	45,913,109	54,272,543
負 債	未払金	38,008,538	46,204,617
	未払消費税等	1,492,800	653,200
	未払法人税等	0	0
	前受金	335,160	132,000
	預り金	2,713,424	2,594,310
	合 計	42,549,922	49,584,127
次期繰越収支差額		3,363,187	4,688,416

監 査 報 告 書

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー
理事長 池 田 晃 治 様

令和2年5月15日

公益財団法人広島観光コンベンションビューロー

監 事 曾 川 祐 治 

監 事 隈 元 泰 治 

私たち監事は、令和元年度公益財団法人広島観光コンベンションビューローの会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び財産目録等の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、監事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。